

皆様の御意見をお聞かせください！！～高齢者温泉施設の入浴機能の集約について～

伊豆の国市は、公共施設（小中学校や市営住宅など）の老朽化や人口変動、財政状況を踏まえ、長期的な視点で公共施設の効率的な配置・更新・統合を進めています。

市には**市営の高齢者向け入浴施設が3施設あります**。入浴料は160円で、おおむね60歳以上の方が利用できます。

令和9年3月31日をもって、これら3施設の入浴機能を統合し、**老人憩の家水晶苑のみにお風呂を残す**方針を定めました。

《質 問》

3施設の入浴機能の今後について、どうすべきか。

回答はQRコードから

《選択肢》

- ① 3施設とも入浴機能を継続するべき
- ② 入浴機能を1施設に集約するべき
- ③ 入浴機能を全て廃止するべき
- ④ わからない・興味がない



【老人憩の家水晶苑（最寄り駅は大仁駅）のみ残す理由】

①施設の老朽化

(1)ボイラーの老朽化(高齢者温泉交流館・高齢者健康会館)

- ・30年以上経過し、更新が必要（費用約920万円）

(2)ろ過機ろ材の交換（高齢者温泉交流館）

- ・毎年交換が望ましいが、3年ごとに交換（費用約140万円）

②利用者の減少

年度	高齢者温泉交流館		高齢者健康会館		老人憩の家水晶苑	
	延べ人数	1日平均	延べ人数	1日平均	延べ人数	1日平均
H30	50,006	179	26,437	91	23,340	83
R6	22,312	78	10,509	36	14,656	50
R7	28,665	99	11,135	38	15,930	55
H30/R7	57.32%		42.12%		68.25%	

③収支赤字（平成30年度～令和6年度の平均）

施 設	収支合計
高齢者温泉交流館	▲26,949,783円
高齢者健康会館	▲11,612,520円
老人憩の家水晶苑	▲8,995,884円
合 計	▲47,558,187円

- ・老人憩の家水晶苑のみとした場合、年間で約1,823万円の節約ができる見込み。
- ・収支を黒字（現在の利用者数で3施設を継続）にする場合、1,000円を超える値上げが必要。

【3施設を継続した場合のメリット】

「入浴ができてありがたい。」との声もいただいています。

- ・「生きがい」、「健康づくり」、「交流の場」の最大化・「歩いて行ける」、「身近にある」という利便性の向上

【施設の概要】

	高齢者温泉交流館	高齢者健康会館	老人憩の家水晶苑
最寄り駅	伊豆長岡駅	伊豆長岡駅	大仁駅
建築年	平成4年	平成7年	平成16年
構 造	鉄骨造	鉄骨2階建て	木造2階建て
延床面積	777.02㎡	976.14㎡	624.2㎡
敷地面積	4,104.27㎡	971.29㎡	992.69㎡
洗い場	11か所・11か所	7か所・5か所	6か所・6か所
送迎バス	あり	あり	あり
駐車場	約60台	アクシス第2駐車場を共用（約40台）	大仁淵端公園と共用（約15台）
土 地	市有地：1,085.27㎡ 借 地：3,019㎡ 借地料あり	市有地：971.29㎡	市有地：992.69㎡
年間温泉使用料	2,200,000円	382,800円	451,200円
組合年間負担金等	1,742,000円	—	—